介護プロフェッショナルレベル

レベル	基本的な考え方
レベル７	
レベル６	・多様な生活障害をもつ利用者に質の高い介護を実践 ・介護技術の指導や職種間の連携のキーパーソンとなり、チームケアの質を改善
レベル５	
レベル４	・チーム内でのリーダーシップ（例：サービス提供責任者、主任等） ・部下に対する指示・指導 ・本レベル以上が「アセッサー」（※）になれる
レベル３	・利用者の状態に応じた介護や他職種の連帯等を行うための幅広い職域の知識・技術を習得し、的確な介護を実践
レベル２	・ 一定の範囲で、利用者ニーズや、状況の変化を把握・判断し、それに応じた介護を実践 ・基本的な知識・技術を活用し、決められた手順等に従って、基本的な介護を実践
レベル１	・初任者研修により、在宅・施設で働くうえで必要となる基本的な知識・技術を習得

※　アセッサー……施設や事業所内で職員の評価を行う人